

〔麦 類〕

1. 作付の概況

九州地域における平成29年産の麦類の作付面積は55,400ha で、前年と比べて1,200ha減少した。麦種別では、小麦が32,700ha、二条大麦が21,100ha、裸麦が1,630ha、六条大麦が12haで、前年に比べて小麦は1,100ha減少、二条大麦は100ha減少、裸麦は40ha減少した。全国の作付面積に占める九州地域の割合は、小麦が15.4%、二条大麦が55.1%、裸麦が32.8%、六条大麦が0.07%であった。県別では、小麦はすべての県で減少した。二条大麦は、長崎、大分を除く各県で減少した。裸麦は、長崎、大分で減少した。六条大麦は作付面積は少なく、大分県で減少した。

2. 生育概況

播種後降雨が多く出芽不良なところもあった。12月から1月上旬までは気温が高めに推移し、その後3月下旬までは気温は平年並みかやや高めで、日照時間も長く、生育がやや早まった。そのため穂数が少なく、稈長はやや短く、出穂が早まった。4月～5月は気温が高く、日照時間は長くなった。4月下旬以降は晴れの日が多く降水量は少なく、気温も高めであったため成熟期は更に早まった。容積重は平年並みかやや小さくなった。穂数が少なかったため、平年より低収となった。赤かび病の発生はやや少なく、赤さび病・うどんこ病の発生は認められなかった。梅雨入りが平年よりかなり遅い6月20日であったため、成熟が早く天候にも恵まれ収穫は順調であった。成熟期の高温により粒の充実不足で外観品質はやや不良であった。

3. 作柄の概況

九州全体の10a当たり平均収量（過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均）対比は、小麦で112、二条大麦で99、裸麦で105で、小麦および裸麦では平均収量を上回ったが、二条大麦は僅かながらも9年連続で平均収量を下回った。また、各県の10a当たり平均収量対比は、小麦は沖縄を除くと鹿児島県の98が最も低く98～140、二条大麦は佐賀県の95が最も低く95～119、裸麦は63～121であった。県別で作付面積が300haを超える麦種では、佐賀県の二条大麦、佐賀県の裸麦の作柄が不良であった。

（九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 小麦・大麦育種グループ長 中村和弘）

平成29年産麦類の作付面積と収穫量

(麦種) 地域・県	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	前年産との比較						(参考) 10a当たり 平均収量 対
				作付面積		10a 当たり 収量		収穫量		
				対差	対比	対比	対比	対差	対比	
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	
(小麦)										
全九州	212 300	427	906 700	△ 2 100	99	116	115 900	115	111	
福岡	32 700	328	107 300	△ 1 100	97	122	16 600	118	112	
福岡	14 800	337	49 900	△ 500	97	117	5 800	113	108	
佐賀	9 640	359	34 600	△ 120	99	132	8 100	131	121	
長崎	535	278	1 490	△ 98	85	131	140	110	112	
熊本	4 880	291	14 200	△ 200	96	112	1 000	108	102	
大分	2 690	252	6 780	△ 120	96	133	1 440	127	113	
宮崎	111	257	285	△ 6	95	204	138	194	140	
鹿児島	35	164	57	△ 5	88	166	17	143	98	
沖縄	23	122	28	△ 4	85	103	△ 4	88	67	
(二条大麦)										
全九州	38 300	313	119 700	100	100	112	12 900	112	106	
福岡	21 100	265	55 900	△ 100	100	118	8 400	118	99	
福岡	5 950	267	15 900	△ 40	99	114	1 800	113	99	
佐賀	10 700	268	28 700	△ 100	99	116	3 800	115	95	
長崎	1 200	255	3 060	50	104	111	430	116	100	
熊本	1 720	278	4 780	△ 60	97	136	1 130	131	113	
大分	1 260	240	3 020	80	107	145	1 070	155	119	
宮崎	46	257	118	△ 10	82	151	23	124	118	
鹿児島	152	195	296	△ 7	96	171	115	164	101	
(裸麦)										
全九州	4 970	256	12 700	△ 20	100	128	2 700	127	102	
福岡	1 630	243	3 960	△ 40	98	132	880	129	105	
福岡	447	239	1 070	72	119	96	136	115	85	
佐賀	219	281	615	35	119	124	199	148	104	
長崎	102	136	139	△ 4	96	170	54	164	84	
熊本	134	207	277	48	156	131	141	204	117	
大分	705	258	1 820	△ 194	78	155	330	122	121	
宮崎	9	94	8	2	129	200	5	267	63	
鹿児島	16	176	28	5	145	117	11	165	127	
(六条大麦)										
全九州	18 100	290	52 400	△ 100	99	98	△ 1 200	98	104	
九州	12	392	47	x	x	196	x	x	118	
大分	6	426	26	△ 8	43	251	2	108	123	

注：1)「(参考)10a当たり平均収量対比」とは、10a当たり平均収量(原則として過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

2)△は減少、×は非公表を示す。

3)資料は平成30年3月28日農林水産省公表の「平成29年産4麦の収穫量」による。

4)統計数値については、四捨五入により合計値と内訳の計が一致しない場合がある。